事前評価調書

I	事業概要					
事	業名	農業	農村整備事業(緊急農地防災事業)			
地区名		コウ	ウズゾレ池地区			
事業箇所		豊田	田市			
			豊田市の北部に位置するコウズゾレ池は、約 4.1ha の農地にかんがい用水を供給している農業			
			とめ池である。	_		
事業のあ らまし			本ため池は近年、堤体からの漏水が見られるなど老朽化が進行しており、洪水吐の能力も不足 でいることから、放置すれば豪雨等により決壊し下流の農地や農業用施設、公共施設等に多大 被害を及ぼす危険性がある。			
			このため、老朽化したため池の堤防や能力不足の洪水吐等を改修することにより、決壊等によ			
			災害を未然に防止し農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図る。			
		【達成(主要)目標】				
事業目標		老	老朽化したため池を改修し、決壊等による農地、農業用施設及び公共施設等の被害を未然に防			
			<u>-</u> する。			
			(計画基準雨量 74.7 mm/h、1/100 年確率雨量)			
		【副]次目標】			
			- 			
事業費			0.8 億円 ■工事費 0.7 億円、□用補費 億円、■その他 0.1 億円			
事	業期間	採択	₹予定年度 平成 29 年度 着工予定年度 平成 30 年度 完成予定年度 平成 32 年度			
事業内容 ため池改修 1 か所 (堤体工 30.0m、余水吐兼洪水吐工 1 か所)						
Ⅱ評価						
	1) 必要性		コウズゾレ池は、老朽化が著しく進行しており、洪水時には決壊の恐れがある。池の下	流		
			には農地や農業用施設、公共施設等があり、決壊した場合、甚大な被害が想定されるため、	,		
1			早急に対策を講じ、災害の未然防止を図る必要がある。			
事業			また、「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(平成27年9月)に基づき算定し。	た		
かの			B/C は 2. 03 で 1. 00 を超えている。			
①事業の必要性			A: 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B: 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。			
性	判定					
			甚大な被害が想定されるため、早急に対策を講じ、災害の未然防止を図る必要がある。			
	1) 事業	計画				
			H29 H30 H31 H32			
②事業の実効性			工種 調査・設計 < → →			
			区分工事			
			事業費(億円) 0.8			
	1. 地元の合 意形成		本地区は、土地改良法に基づく申請事業であり、地元の合意形成が図られている。			
			A: 事業計画の実効性が期待できる。			
	判定		B: 事業計画の実効性が期待できない。			
	TIJÆ		【理由】			
			地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。			

Ⅲ 対応方針

事業実施が 事業実施が妥当である。: 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。

妥当である 事業実施は妥当でない。: 上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

_

【主な評価内容】

本事業は、想定規模と同等の降雨がなければ効果を検証できないため、事業完了後 5 年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合に効果を検証する。